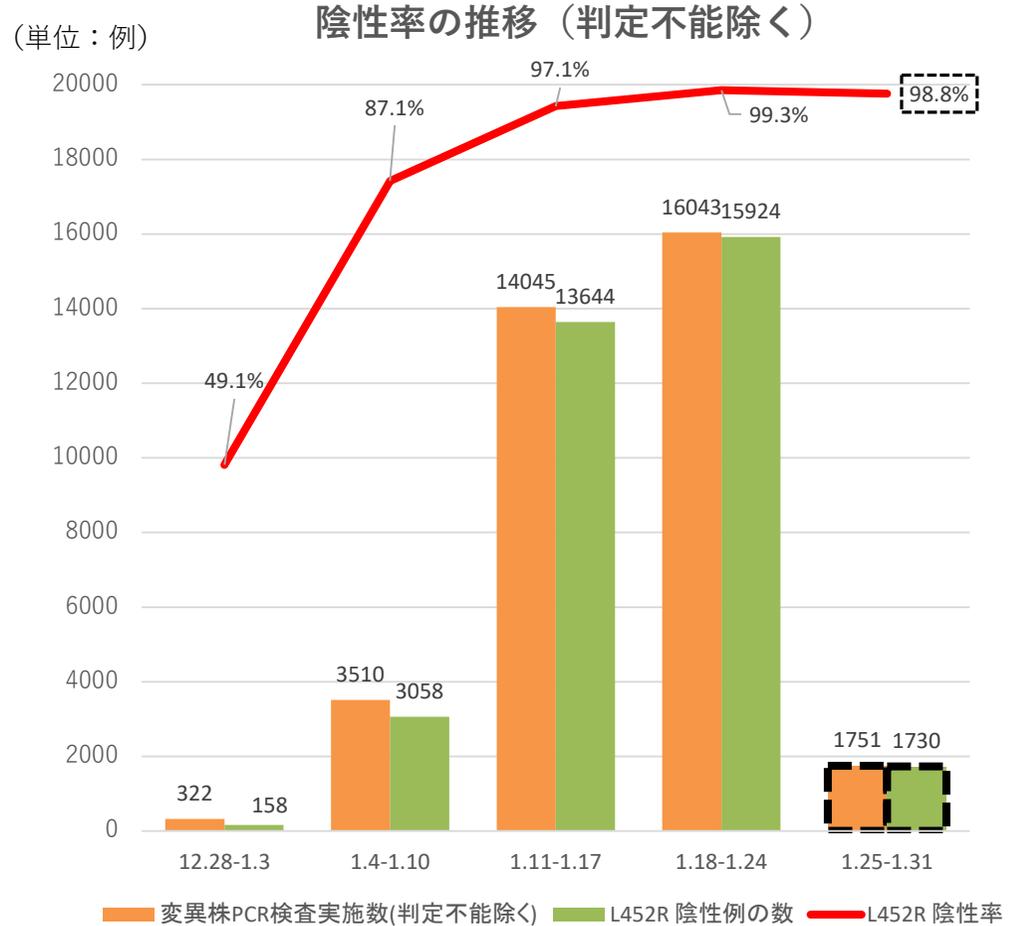
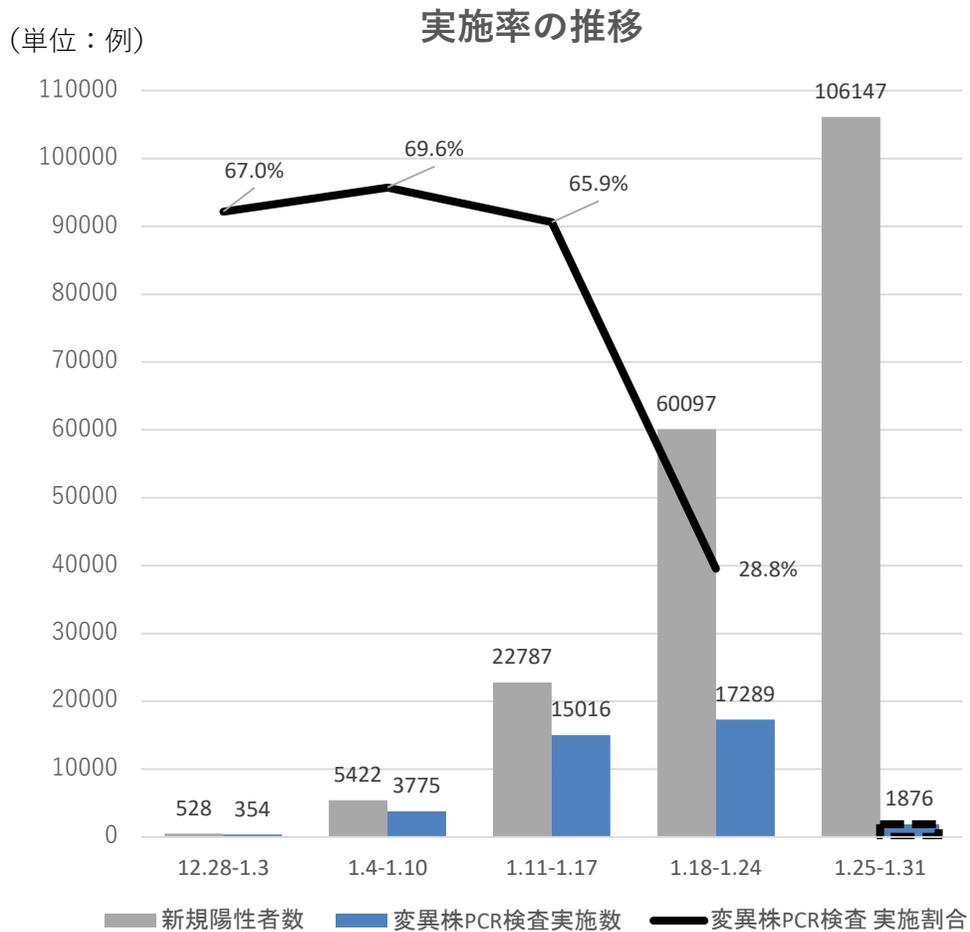


都内のL452R変異株PCR検査 実施状況 〔オミクロン株疑い(L452R陰性)の推移〕

(令和4年2月3日12時時点)



※ 変異株PCR検査実施数及び陰性例の数は、健安研及び民間検査機関等の合計

※ 変異株PCR検査実施数については、追加の報告により、更新する可能性がある。(点線枠で囲った数値、グラフは速報値のため今後更新予定)

※ 「判定不能」とは、ウイルス量が少ない等の理由により、変異についての判定ができないもの

都内のL452R変異株PCR検査 実施状況一覧

〔オミクロン株疑い(L452R陰性)の推移〕

(令和4年2月3日12時時点)

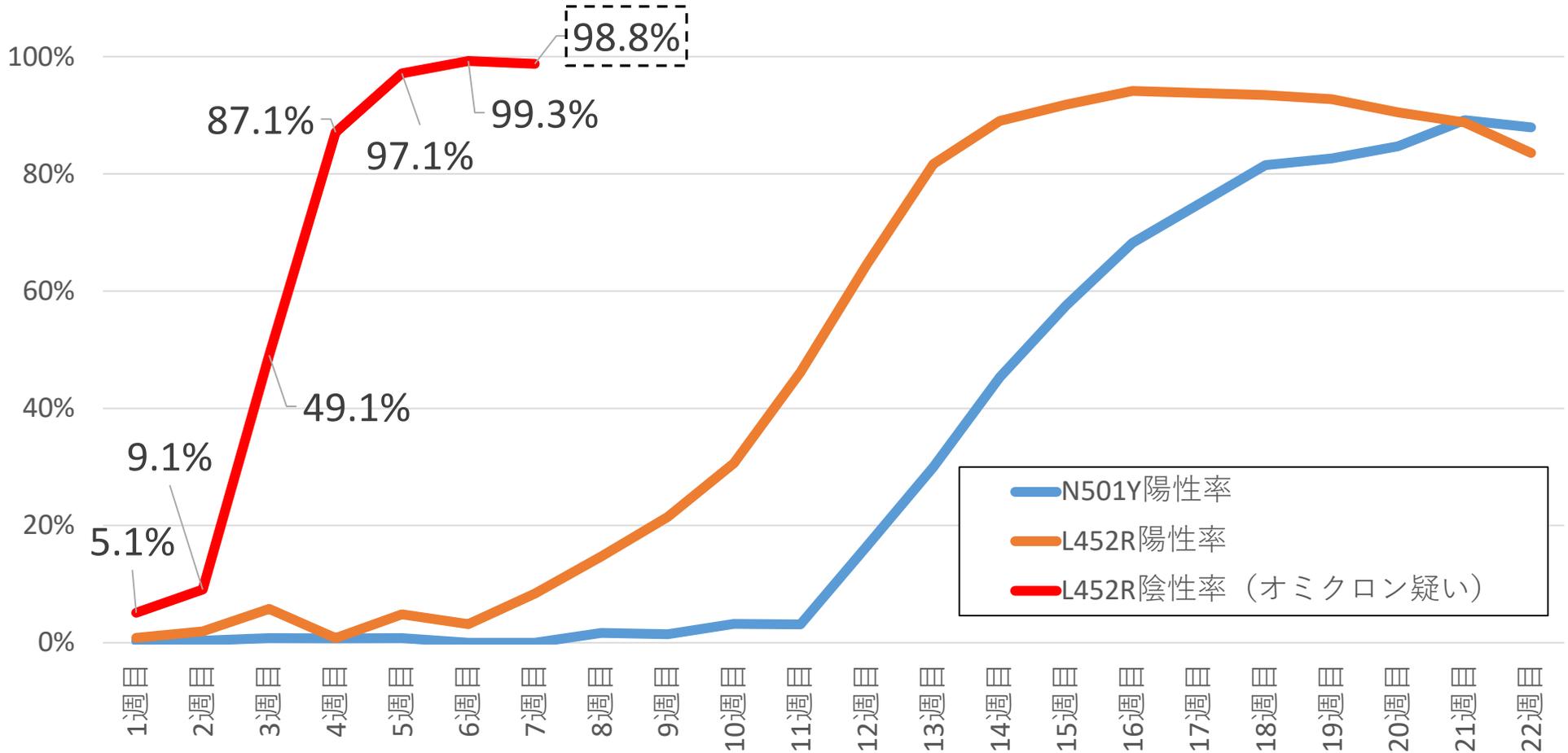
	合計数	12.2まで	12.3-12.6	12.7-12.13	12.14-12.20	12.21-12.27	12.28-1.3	1.4-1.10	1.11-1.17	1.18-1.24	1.25-1.31
新規陽性者数(報告日別)	—	—	57	118	173	263	528	5,422	22,787	60,097	106,147
変異株PCR検査実施数	38,753	29	18	77	143	176	354	3,775	15,016	17,289	1,876
健安研	1,836	29	2	28	56	52	99	386	436	465	283
民間検査機関等	36,917	0	16	49	87	124	255	3,389	14,580	16,824	1,593
変異株PCR検査 実施割合	—	—	31.6%	65.3%	82.7%	66.9%	67.0%	69.6%	65.9%	28.8%	—
L452R変異株 陰性数	※34,534	0	0	0	6	14	158	3,058	13,644	15,924	1,730
健安研	1,303	0	0	0	6	7	34	286	339	408	223
民間検査機関等	33,231	0	0	0	0	7	124	2,772	13,305	15,516	1,507
L452R変異株 陽性数	1,513	25	17	63	111	140	164	452	401	119	21
判定不能件数	2,705	3	1	14	26	22	32	265	971	1,246	125
L452R変異株PCR検査 陰性率	—	—	0.0%	0.0%	5.1%	9.1%	49.1%	87.1%	97.1%	99.3%	98.8%

※ L452R変異株陰性34,534件のうち、2,227件がゲノム確定済み

- ※ 12月以降のL452R陰性(デルタ株ではない)は、オミクロン株であることが推測できることからL452R陰性数を計上
- ※ 民間検査機関等の実施数については、追加の報告により、更新する可能性がある
- ※ L452R変異株PCR検査陰性率は、判定不能件数を、検査実施数から除外して算出
- ※ 「12.2まで」の検査結果に、アルファ株疑い1件を計上していないため、検査実施数と結果の件数が合致しない。
- ※ 新規陽性者数(報告日)については、12月3日から12月30日の都の公表数の修正を反映

都内のL452R変異株PCR検査 実施状況 〔オミクロン株疑い(L452R陰性)の推移〕

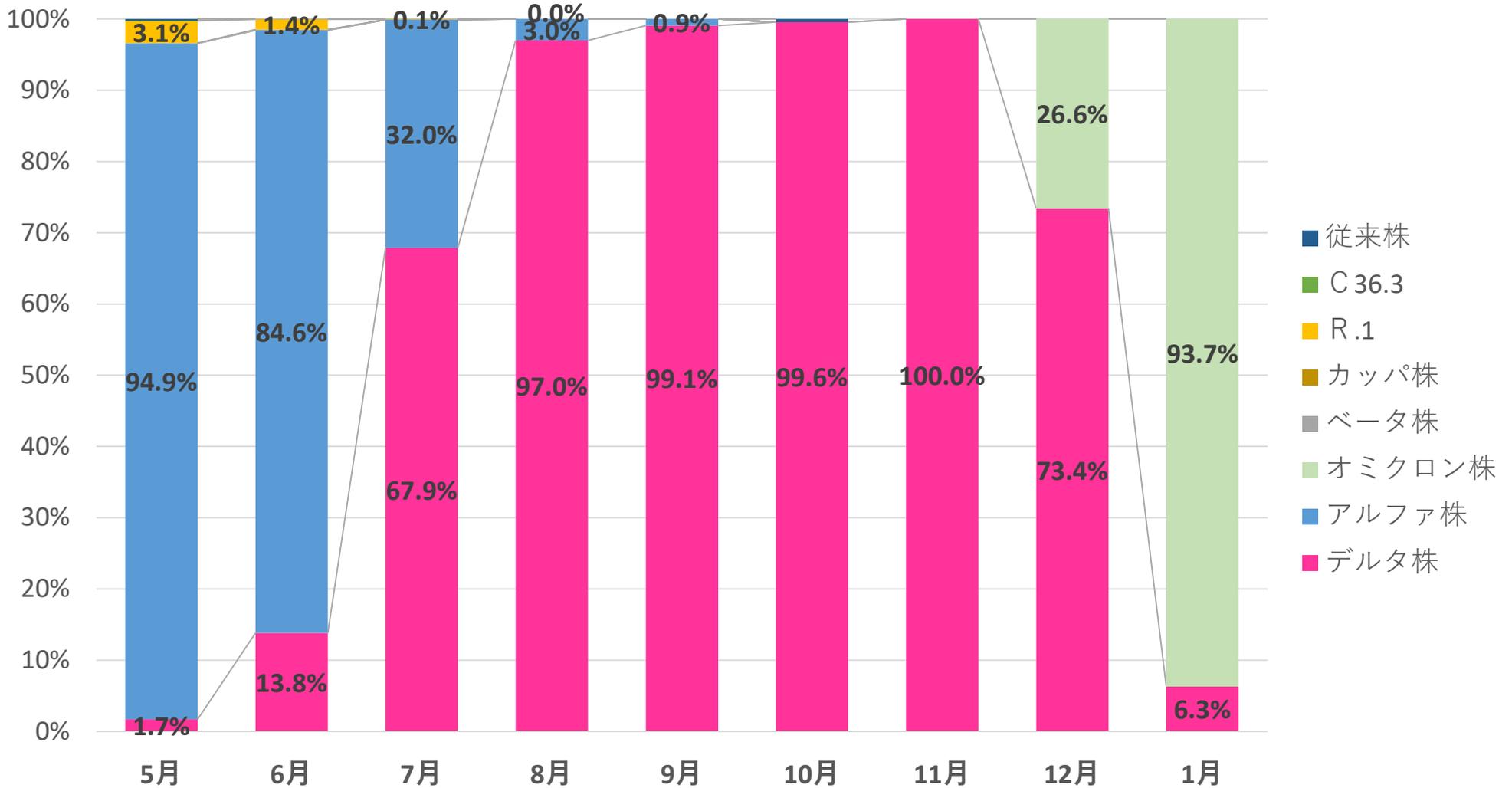
(令和4年2月3日12時時点)



- ※ N501Yの起算点は、健安研におけるスクリーニング検査で初めて陽性が確認された1.11-1.17の週とする。
- ※ L452Rの起算点は、健安研におけるスクリーニング検査開始(4/30~)後、初めて陽性が確認された5.3-5.9の週とする。
なお、L452Rのスクリーニング検査は、健安研において4/30から開始した。4/29以前については、4/1から4/29に受け付けた検体のうち、検査可能な検体から抽出し、改めてスクリーニング検査を実施している。(4/29以前は5例の陽性例が検出されている。)
- ※ L452R陰性率(オミクロン株疑い)の起算点は、健安研におけるスクリーニング検査で初めて陽性が確認された12.14-12.20の週とする。
- ※ L452Rの陰性率(オミクロン株疑い)は、判定不能を除いて算出
- ※ 点線で囲った数値は速報値のため今後更新

ゲノム解析結果の推移

(令和4年2月3日12時時点)



※ 都内検体の、令和3年5月から令和4年1月までに報告を受けた、ゲノム解析の実績

※ 追加の報告により、更新する可能性あり

ゲノム解析結果について（内訳）

（令和4年2月3日12時時点）

名称	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
アルファ株	2,052	2,133	2,835	354	35	0	0	0	0
デルタ株	37	348	6,008	11,423	3,833	234	89	102	147
うちAY.4.2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
オミクロン株	0	0	0	0	0	0	0	37	2,190
ベータ株	0	1	0	0	0	0	0	0	0
カッパ株	1	1	0	0	0	0	0	0	0
R.1	67	36	7	0	0	0	0	0	0
C36.3	1	0	0	0	0	0	0	0	0
従来株	5	1	1	0	0	1	0	0	0
計	2,163	2,520	8,851	11,777	3,868	235	89	139	2,337
健安研	55	138	161	252	55	57	26	22	765
その他	2,108	2,382	8,690	11,525	3,813	178	63	117	1,572
新規陽性者数（報告日別）	21,871	12,977	44,448	129,193	31,929	2,134	542	905	—
実施割合	9.9%	19.4%	19.9%	9.1%	12.1%	11.0%	16.4%	15.4%	—

※ 都内検体の、令和3年5月から令和4年1月までに報告を受けた、ゲノム解析の実績

※ その他は国立感染症研究所や民間検査機関

※ 追加の報告により、更新する可能性あり

※ 新規陽性者数（報告日）については、12月分の都の公表数の修正を反映

オミクロン株のうち、BA.2系統の確認例 12月:1件、1月:2件(すべて海外リンクあり)

都内におけるオミクロン株「BA.2系統」の確認

- 民間検査機関（都委託）のゲノム解析により、都内の陽性検体から、オミクロン株「BA.2系統」を確認

「BA.2系統」の概要

- 国外では、デンマーク、インド等でBA.2系統の占める割合が増加
- 国内におけるオミクロン株の主流はBA.1系統であるが、BA.2系統も、検疫や国内で検出(※) ※これまで検疫313例、国内27例確認（厚労省HPより）（本年1月26日時点）
- BA.1系統で、スパイクタンパク質に見られる欠失箇所がない
- BA.1系統と同様、変異株PCR検査ではL452R陰性となる(デルタ株と区別可能)
- 現状、疫学的情報は限定的であり、今後の発生動向には注視が必要